

平成29年度 第1回 総合教育会議

教育大綱重点テーマに関する報告書

(1) 小1プロブレムの解消（学校教育課・児童福祉課）

<教育大綱>

幼・保・小の連携を強化し、出前授業・出前保育や園児の学校訪問・給食試食会など、小1プロブレム解消のための取組を実施します。

<今年度の取組予定について>

【校園所の連携・交流】

- ① 保育所・幼稚園・小学校の交流にかかる年間計画を作成して、計画的に出前授業や出前保育、体験入学や給食体験など様々な交流を実施します。
- ② 保育所職員が幼稚園の園内研修に参加したり、幼稚園教諭の保育所の保育体験を行うことにより、保育所・幼稚園における保育・教育内容の共有を図ります。
- ③ 小学校と保育所の指導者の相互理解・連携を図るため、小学校教諭による保育体験を実施します。

【児童間の交流】

- ① 幼稚園と保育所の幼保児童の交流を実施します。

【その他】

- ① 丹波市幼稚園と丹波市小学校では、昨年度より文部科学省の進める「幼児期の教育と小学校の育ちをつなぐ幼小接続事業」に取り組んでおり、その研究の成果として「アプローチプログラム」及び「スタートカリキュラム」を作成するとともに、その効果的な活用方法等について市内の各校園に広めていきます。
- ② 櫛本小学校及び前栽小学校の図書館を活用して、幼稚園・保育所等の未就学児を中心にした施設交流を実施します。

<これまでの進捗状況について>

【校園所の連携・交流】

- ① 幼稚園教諭と小学校教諭による合同研修
- ② 幼稚園教諭及び小学校教諭による保育体験（保育所研修）
- ③ 保育所職員が幼稚園の園内研修に随時参加
- ④ 小学校と保育所の連絡会を開催
- ② 出前保育・出前授業を実施

【児童間の交流】

- ① 幼稚園児と小学校1年生児童のカレーパーティ開催
- ② 幼稚園児による小学校のプールを活用した水遊びの実施
- ③ 幼稚園と保育所の子どもの遊びの交流を実施

【その他】

- ① 櫛本小学校で図書館解放を実施



(2) 中1ギャップの解消（学校教育課）

＜教育大綱＞

小・中の連携を強化し、出前授業やオープンスクールなど、中1ギャップを生まな
いたための取組を実施します。

＜今年度の取組予定について＞

- ① 中学校の先生による出前授業や学校説明会、中学校でのオープンスクールやク
ラブ体験等を実施します。
- ② 小学校・中学校において積極的に授業を公開して、お互いの授業を見合う取組を
推進します。
- ③ 小学校と中学校との間のみならず、同じ中学校区内の小学校同士の連携を推進し
ます。
- ④ 小学校の教員と中学校の教員の連携を図る取組として、各校の課題や校区のテー
マに即した小中教員合同の研修会を実施します。
- ⑤ 小学校の教員と中学校の教員による授業交流を推進します。

＜これまでの進捗状況について＞

- ① 小学校において、中学校の教員による指導の下、スポーツテストを実施
- ② 小中教員による合同研修会を開催
- ③ 地域学習として、小学校2年生が中学校を訪問して、中学校の担当教師から説明
を受けながら理科室等を見学

(3) 体力向上に向けた取組み（学校教育課・児童福祉課）

＜教育大綱＞

幼児期に運動意欲を向上させ、小学校での体力向上プランにつながる「朝のリズム
体操」や「キッズサッカー」等の取組を実施します。（就学前）

児童生徒の体力向上を目指し、「スポーツの町・天理」として天理大学との連携事
業を取り組みます。（就学後）

＜今年度の取組予定について＞

【幼稚園】

- ① 各幼稚園では、運動能力実態調査を実施して幼児の運動能力の把握に努めるとと
もに、保護者にも測定結果を伝えることで、保護者とともに具体的に子どもの体力
を考えるきっかけとしていきます。
- ② 「おはようタイム」「うきうきタイム」「わくわくタイム」などを設定して、体を
動かす取組を推進します。
- ③ 外部講師を活用して、体操教室やサッカー教室を開催します。
- ④ 園庭の芝生を活かした活動を推進します。

【小学校】

- ① 市内の中学校や高等学校の協力を得ながら、スポーツテストや体育の授業を行います。
- ② 昨年に引き続き、小学校体育主任会で、天理大学から講師を招いて「子どもたちが意欲的に活動する体育授業の工夫」をテーマにした実技講習会を開催します。
- ③ 奈良県教育委員会が主催する「外遊び、みんなでチャレンジ！」への積極的な参加を市内小学校に呼びかけます。

【保育所】

- ① 身体を動かして遊ぶことが楽しいと感じられるような運動あそびを充実させ、体幹育てや運動遊びに興味を持てるよう体力向上に向けた取り組みの推進に努めます。
- ② 様々な運動遊びに取り組み、努力することや友達と協力して活動することの大切さを感じることで運動意識を向上させる。

<これまでの進捗状況について>

【幼稚園】

- ① 全幼稚園で、毎朝決まった時間に体を動かす取組を推進
- ② 運動能力やスポーツテストを実施し、園児の運動能力の実態を把握

【小学校】

- ① 運動能力やスポーツテストを実施し、園児の運動能力の実態を把握
- ② 小学校体育主任社会において、夏期実技講習会を開催
- ③ 「外遊び、みんなでチャレンジ！」への参加状況
 - ア 県内11市町村で、21校、2,295名の児童が登録
 - イ 天理市では、3校、686名（全体の約30%）の児童が登録
 - 丹波市小学校：452名、櫛本小学校：102名、福住小学校：132名
 - ウ 丹波市小学校及び櫛本小学校が成績優秀校で表彰されました。



【保育所】

- ① リズム遊び・わらべうた遊びを実施
- ② 講師を招いて体幹を育てる運動遊びや体操を実施
- ③ 体育遊具を使ってのサーキット遊びを実施
- ④ 戸外遊びを充実

(4) 基礎学力の向上と学習意欲を高める取組みの推進（学校教育課）

<教育大綱>

わかりやすい授業を創造するとともに、全小学校での国語科の研修授業など「書く

力」を育むための取組や、学習支援員によるきめ細やかな学習支援活動を実施します。

<今年度の取組予定について>

- ① 学習支援員やスクールサポートを効果的に活用し、児童生徒一人一人の状況や学習形態に対応します。
- ② ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、自分の意見を発言したり友達の意見を聴く場面を設定し、より深い学びを迫及する学習形態を推進します。
- ③ 教員の授業力の向上に向けて、定期的に授業公開や研修会を開催します。
- ④ ICT機器を効果的に取り入れた魅力ある授業を創造します。
- ⑤ 外部指導者等も活用しながら、放課後や長期休業中に学習会を開催して、基礎学力の定着を図ります。
- ⑥ 基本的な生活習慣や学習習慣の定着を目指す取組を保護者と連携しながら推進します。

<これまでの進捗状況について>

- ① 毎朝に「学習タイム」を設定したり、月に1～2回の放課後学習会や夏季休業中の夏休み学習会を開催
- ② 奈良県の学力学習状況調査の結果を分析して、自校の児童・生徒の学力や生活習慣の実態を把握
- ③ 昨年度に引き続き「小学校国語科授業研究会」を立ち上げ、年間計画に基づいて研修を実施

(5) 学校図書館及び特別教室の市民への開放（教育総務課）

<教育大綱>

各幼稚園・小学校・中学校では、これまでも地域の住民と連携した取組が進められています。そうした学校と地域住民のつながりをさらに深め、地域ぐるみの子育てを推進するため、児童生徒や地域の人々に教育環境を提供し、適切な安全対策を講じた上で、地域の中の居場所づくりとしての学校図書館・多目的教室などの学校施設を開放します。平成28年度から前栽小学校と井戸堂小学校の多目的教室を地域の絆づくりの場として開放します。以降は、この取組を全市的に広めるため、積極的に条件整備を行い、順次、実施していきます。

<今年度の取組予定について>

1 多目的教室について

各学校の多目的教室をより多くの団体に利用して頂けるように、公民館だより等での広報と合わせて、子育て世代のための活動を行っている団体等にも周知していきます。

2 学校図書館開放について

(1) 櫛本小学校

櫛本小学校では、学校や幼稚園を通じて周知を行い、より学校が身近になるように、園児とその保護者に利用を促進していきます。また、小学校の保護者の利用について検討し、地域の方が身近に感じられる学校図書館を目指します。

(2) 前栽小学校

前栽小学校では、園児の利用者を増やすため、季節ごとにテーマを決めた絵本を取りそろえたり、ボランティア団体による読み聞かせに加えて、ALT(外国語指導助手)による英語の絵本の読み聞かせなどを行い、園児たちが興味を持って図書館開放に参加できるように実施します。今後は、学校及び学校の保護者と相談しながら、図書館の利用対象者の拡大を図ります。

<これまでの進捗状況について>

1 多目的教室について

学校と地域のつながりを深め地域ぐるみの子育てを推進するための居場所づくりとして、井戸堂小学校と前栽小学校で多目的教室の休日開放を実施しています。前栽校区では地域の子ども会からの登録申請があり、利用団体が増えました。

2 図書館開放について

(1) 櫛本小学校

櫛本小学校では、平成28年度より地域と学校で構成されるコミュニティ協議会が中心となって毎月図書館を開放しています。図書館開放の時間帯が小学校の昼休みと重なるため、小学校の図書委員による読み聞かせなどを行い、園児との交流を行っています。また、来校された園児や保護者には校長の手作りの葉などを渡し、園児が楽しんで利用できるように工夫されています。今年度は4回実施しており、毎回多数の園児や保護者が参加し、大変賑わっています。

(2) 前栽小学校

前栽小学校は、平成28年度には事前に調整をした幼稚園・保育園の園児と1年生との交流が3度の実施に終わりましたが、平成29年度は6月から毎月第3水曜日の下校後、14時45分から16時の間に、前栽幼稚園の園児と保護者を対象に図書館の開放を始めました。実施に当たり、前栽幼稚園の園だよりでの告知や、保護者に声掛けを行い、6月は20名、7月は27名の参加がありました。



(6) 放課後子ども教室・土曜講座の推進（生涯学習課）

<教育大綱>

全ての児童が放課後などを安全・安心に過ごすことができる居場所づくりとして、学校の多目的教室や余裕教室、運動場、体育館、その他公共施設などを利用した放課後子ども教室と土曜講座の充実を図ります。

放課後子ども教室については、友達同士で一緒に遊んだり、宿題をしたり、地域の大人と交流をしたりし、子ども達にとって安全・安心で、豊かで楽しい場を提供します。土曜講座については、実験や工作、絵画などの体験学習と宿題と復習の支援を中心に、他学年との交流も含めた楽しい学びの場を提供します。

<今年度の取組予定について>

1 放課後子ども教室（名称：放課後わくわく広場）

放課後子ども教室は、給食実施日の水曜日に、井戸堂小学校の全児童を対象とした登録制で実施します。定員は、40名で、2名のコーディネーターと3名の地域サポーターが運営し、30分の学習と独自プログラムを行います。

2 土曜講座

(1) サタデースクール

昨年は朝和小学校の図書館で実施していましたが、今年度は樺本公民館と式上公民館を会場に開催します。市内の全児童を対象とした登録制で実施することとし、定員は、各会場25名です。郷土の文化財、算数、科学、工作、英語活動など様々な方面における専門家を講師に招き、それぞれ年間9回開催する予定です。

(2) 福住S・ジョブズ・スクール

福住地区においてNPO法人日本無形文化継承機構が実施する土曜スクール「福住S・ジョブズ・スクール」を支援します。福住小学校の児童を中心に、各回40名を募集して、年間8回開催する予定です。地域の方が中心となり、学校と深く連携しながら、企画・運営します。

<これまでの進捗状況について>

1 放課後子ども教室

登録児童は、10名で、5月10日からこれまでに10回開催しました。

30分間の「学習」の時間の後に、多目的室で折り紙や笹飾りづくりなどを楽しんだり、体育館では、ゲームやビーチボールバレーなどで汗を流すとともに、チームプレーを学びました。また、文化財の見学の時間では、子どもたちが、地域の方の説明を熱心に聞いていました。



2 土曜講座

(1) サタデースクール

サタデースクールは、式上会場は5月27日、樺本会場は6月10日に開講しました。昔の遊び道具づくりや算数ゲームに没頭し、おもしろ実験には、興味津々で取り組みました。

(2) 福住S・ジョブズ・スクール

4月23日の開校式からこれまで4回開催しました。「ヤマト野菜を育てる」「ふるさと探検」、「里山のめぐみ」を学習プロジェクトとして設定し、子どもたちが、年間を通して様々な体験やチャレンジをします。



(7) 高校・大学との連携 (学校教育課)

<教育大綱>

天理大学や天理高校、市内の公立高校などでは、レベルの高いスポーツ・音楽活動などが行われ、国際色豊かな環境もあります。幼稚園・小学校・中学校と高校・大学との相互連携を深めることで、他市にはない特色を体験活動を通して天理の教育に活かします。

<今年度の取組予定について>

- ① 近隣の大学と連携した、アシスト事業を推進します。
- ② 市内の高等学校の生徒や先生に支援いただき、スポーツテストや体育学習を実施します。



<これまでの進捗状況について>

- ① 幼稚園5園、小学校7校、中学校1校において、天理大学や奈良女子大学、畿央大学等の学生57名がアシスト事業に参加し、保育補助や学習補助にあたっています。
- ② 県立添上高等学校や二階堂高等学校の先生と生徒の支援を受けて、小学校でスポーツテストを実施しました。
- ③ 天理大学の教授による教職員対象の研修会を開催しました。

(8) ICTを活用した学習内容の充実（学校教育課）

<教育大綱>

全ての市立小中学校にICTの環境整備を行い、タブレット型パソコンを導入します。手で直接画面を操作するというタブレットの利点を活かし、主体的な作業を取り入れた児童生徒にとって興味深い授業を展開します。また、福住小中学校では、高原地域振興の観点から、少人数制の魅力を活かした、英語教育やICT教育に重点を置いた特色ある学校づくりを推進します。

<今年度の取組予定について>

- ① タブレット等のICT機器を効果的に活用した研究授業を実施し、教職員の活用能力や指導力の向上を図ります。
- ② ICT機器の特性を生かした主体的な作業等を取り入れた、児童生徒にとって興味深い授業づくりを進めます。
- ③ 英語科の教科化を見据えたICT機器を活用したオンライン英会話（オンライン・スピーキング・トレーニング）を実施します。
- ④ 市内小学校外国語活動担当者及び希望する教員による体験トレーニングを実施し、福住小・中以外の学校での取組を推進します。



<これまでの進捗状況について>

- ① オンライン・スピーキング・トレーニングの実施状況（1学期）

福住小学校	4年	2回実施
	5・6年	5回実施
福住中学校	各学年	2回実施
- ② 市内小学校の外国語活動担当者によるオンライン・スピーキング・トレーニングの体験トレーニングを実施